

「古墳時代における都市化の実証的比較研究－大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」
第4回研究会のお知らせ

小泉龍人氏（東京大学東洋文化研究所 特任研究員）

「メソポタミアにおける都市の誕生－研究成果と最新情報」

日 時：2017年8月19日(土) 13時30分～16時45分（開場13時）

小泉氏発表：13時30分～15時15分

質疑討論：15時30分～16時45分 コメント 佐々木憲一氏（明治大学）ほか

場 所：アネックス パル法円坂3階2号室（大阪市中央区法円坂1-1-35 Tel. 06-6943-5021）

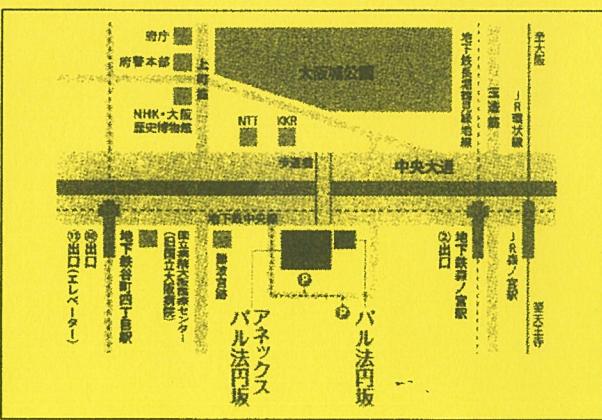
JR環状線森ノ宮駅、地下鉄中央線・長堀

鶴見緑地線森ノ宮駅②出口より西へ徒
歩10分(600m)

地下鉄谷町線・中央線⑩⑪出口より東へ
徒歩8分(500m)

参加費：無料（定員70名先着順）

問合せ：大阪文化財研究所(Tel. 06-6943-6833)



21世紀に生きる私たちは、都市的な生活や文化の仕組みなくして過ごすことが叶いません。その発端はどこにあり、それまでの人間の悠久の歴史とどう違うのでしょうか。日本列島では、のちに難波宮がおかれる大阪上町台地の北部、比恵・那珂遺跡群などがある博多湾岸、政治拠点が分立する奈良盆地などにおいて、他に先駆けて都市化がすすみました。本研究は、三地域の比較研究により、発掘資料からいかに、藤原京・平城京以前の都市化の過程を実証的に明らかにできるかをめざしています。

今回の研究会では、世界でもっとも早く都市を生みだした西アジアのメソポタミアにおける調査研究について、現地調査の豊かな経験をお持ちの第一人者、小泉龍人氏に御発表いただき、それをもとに時間をとって討論していきます。日本列島内や近現代の国家観にとらわれない、汎用性のある方法論や考え方、発想の助けになればと思います。

プロ・アマの研究者・関係者、考古学・歴史学を学ぶ学生など、ご自由にご参加ください。

本会は、科学研究費補助金基盤研究C「古墳時代における都市化の実証的比較研究－大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」（研究代表：南秀雄 研究期間：平成28-30年度）によるものです。